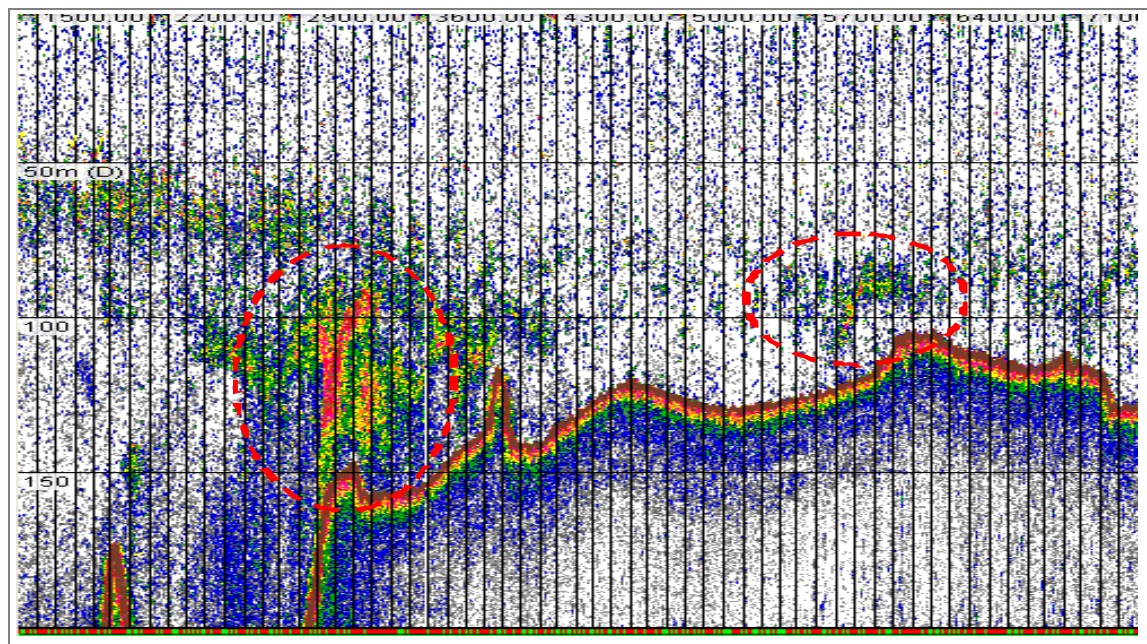


反応構成生物： マサバ (*Scomber japonicus*), ゴマサバ (*Scomber australasicus*)

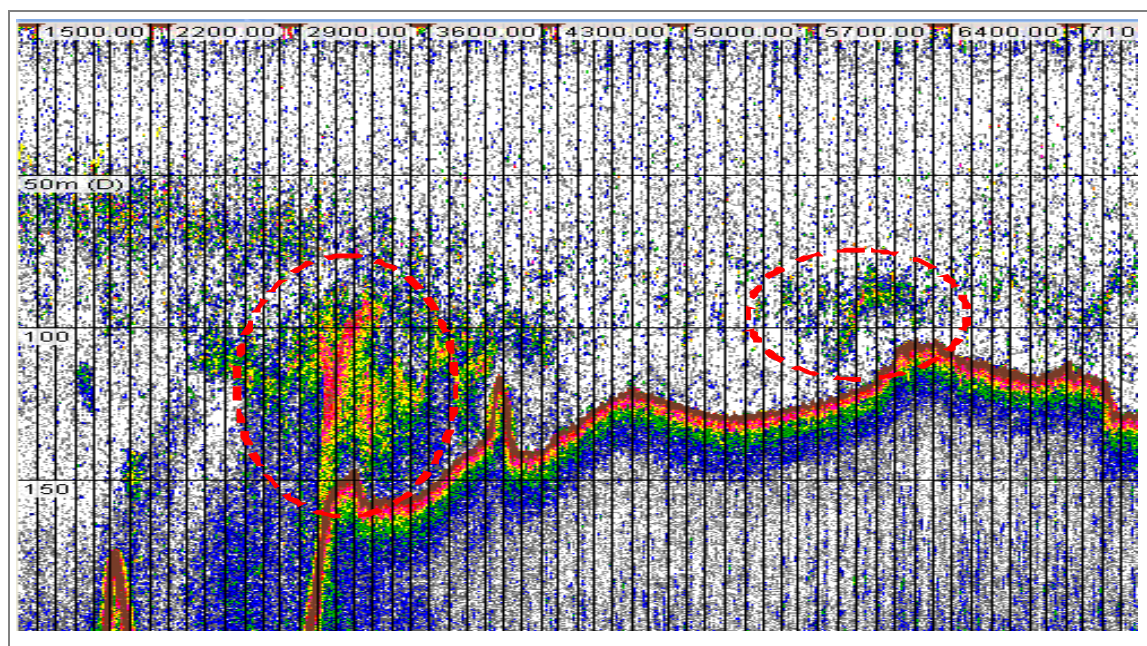
収録日時：2009年2月3日 (夜間 19:00)

収録海域：太平洋, 伊豆諸島近辺

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

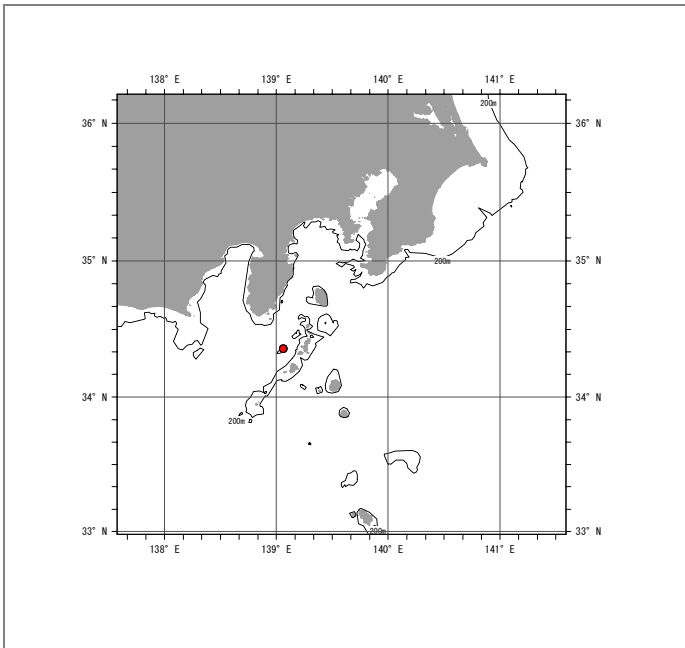
表示スケール： 縦 200 m / 横 6000 m

グリッド間隔： 縦 50 m / 横 100 m

表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：中央水産研究所 資源動態研究室 (川端 淳), 俊鷹丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



Scomber japonicus



Scomber australasicus

写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」，川端 淳（中央水産研究所）

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

ひょうたん瀬と呼ばれるサバのタモ掬い網漁場で反応が確認されたこと。

サンプリング詳細情報・備考

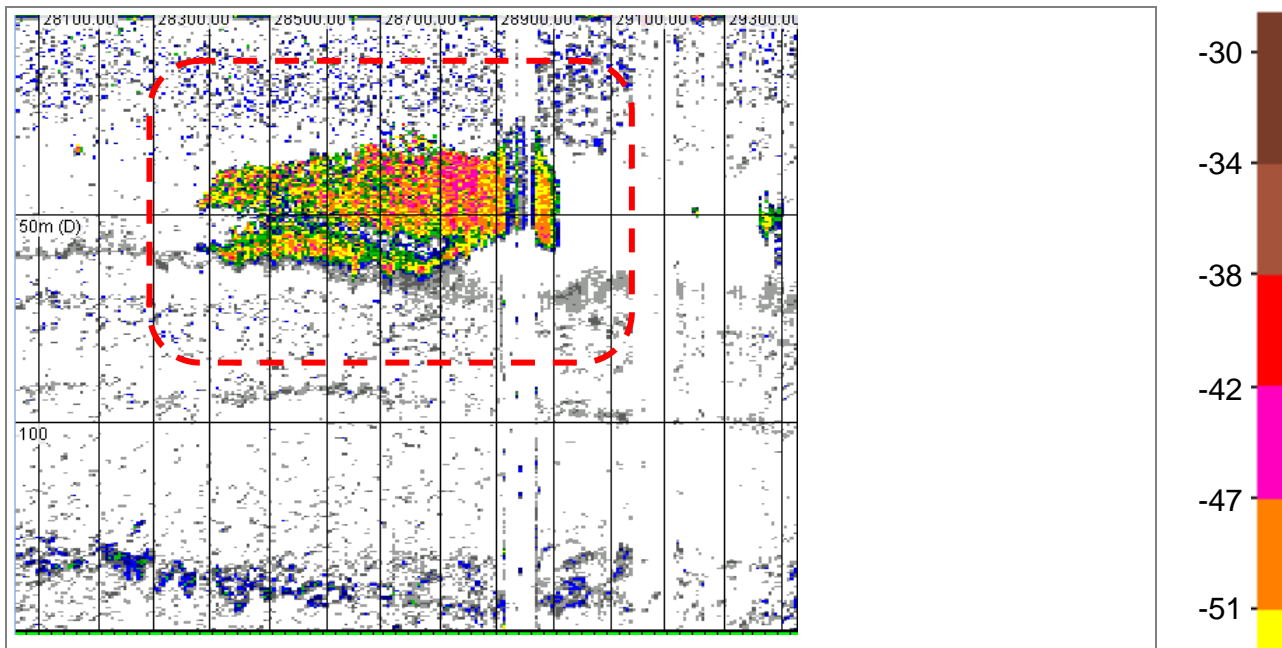
Blank area for sampling details and notes.

反応構成生物： サバ類 (*Scomber japonicus*, *Scomber australasicus*)

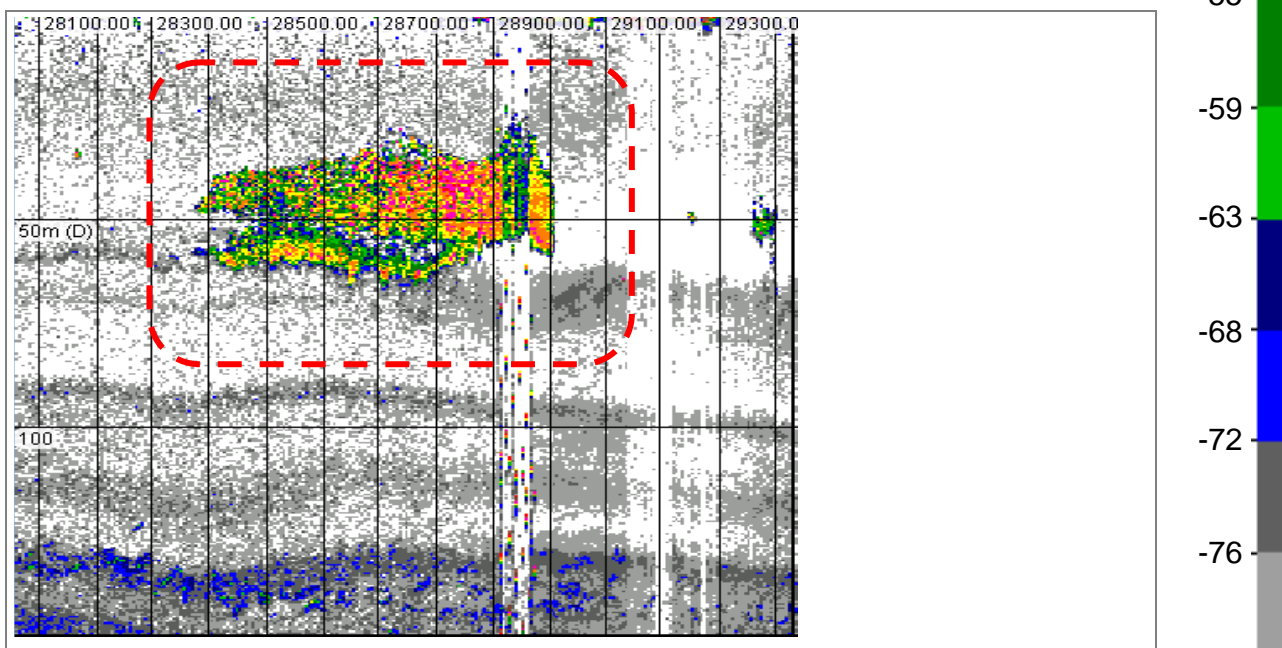
収録日時： 2010年2月9日 (昼間 14:50 頃)

収録海域： 太平洋, 房総沖

収録機種・周波数： EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

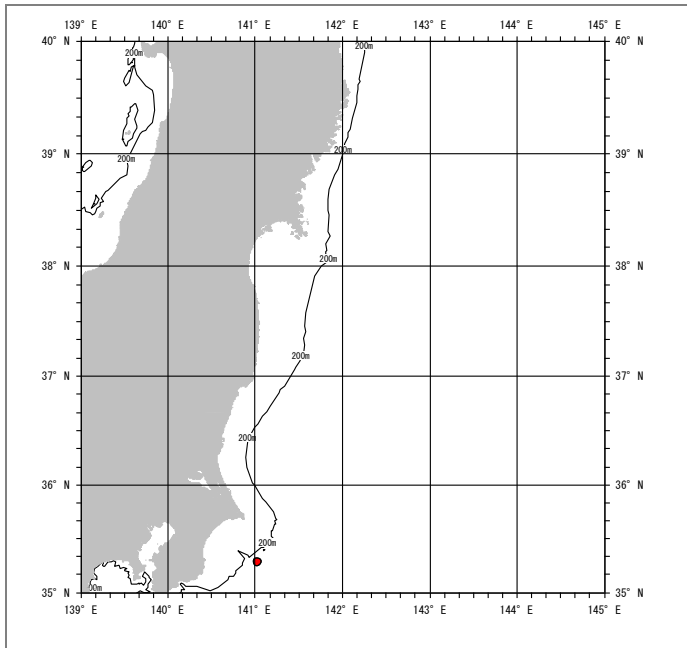
表示スケール： 縦 150 m / 横 2500 m

グリッド間隔： 縦 50 m / 横 100 m

表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供： 茨城県水産試験場 (小澤竜太), いばらき丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



Scomber japonicus



Scomber australasicus

写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」，川端 淳（中央水産研究所）

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

反応直上，もしくはその付近において釣獲調査を行い，サバを確認したこと（エコーグラム中の赤破線がサンプリングした反応と考えられる）。

また，エコーグラムの観察地点から半径 10 マイル以内の海域において，本エコーグラム観察日の前後二日以内にまき網漁船によって，サバ類の漁獲があったこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳：マサバ 13 個体，ゴマサバ 2 個体

サバ類の尾叉長範囲：マサバ 20~31 cm，ゴマサバ 29~30 cm